

ラベンダー通信 Vol.5

編集・発行 PTA広報委員会



野球部3年ぶりの全校応援



中等部 雨にも負けず炊事遠足



男子バスケットボール部大躍進!!



中3生 北政の大学生と国際交流



ディベート甲子園北海道地区予選準優勝



インターンシップ

※ラベンダーの写真は東海大学札幌キャンパスに咲いたものです。

第5号 発刊に向けて

東海大学付属 第四高等学校・中部部
PTA会長 米花 正浩



皆さん、こんにちは！
あっという間に一年が過ぎていき、子供たちは成長し、世の中は急激な変化をしています。そんな中、機会があるごとに言ってきたメールを活用したPTA情報発信の実験が、そろそろ始まります。最初は何人かの保護者の方に参加をいただき、学校が発信をしているいろいろ実験をしてみたいと思っています。その内容もまだ検討中ですが、学校行事・部活動の大会情報など、どんな情報を発信していけば良いのか？ 試行錯誤をしていきたいと思っています。

このメールでの情報配信で、学校と保護者の距離感が少しでも近くなればと、願いを込めて始めたいと思います。皆さんの意見がありましたら、お聞かせください。よろしく願いいたします。

厚生委員会

厚生委員会の活動報告

今年度は5名の少人数の活動でした。
7月初旬に学校に集まったエコキャップと廃油をまとめ、NPO法人へ渡しました。
今後学食体験を企画し、アンケートを実施する予定です。
お忙しい方でも負担が少なく参加出来る活動ですので来年度は多くのご参加をお願いします。



水落先生も集めています。

文化委員会

文化委員会の活動報告

今年の活動テーマとして外部の方に、もっと本校を知っていただくとの思いもあり、PTA、生徒、外部の方を対象に有名講師による講演会を企画してきました。交渉を重ねてきましたが日程等折り合いがつかず、来年度に向けての活動予定となりました。本年度は以前の活動でもあったPTA文庫の充実におけアンケート集計をして、図書を購入する予定です。



松木先生も読んでいます。

建学祭なう。

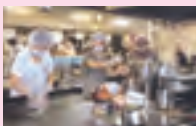
「がんばろう日本！」

(生徒作)の玄関装飾に出迎えられ始まった建学祭(7/15・16)。今年も多くのの方々にお手伝い頂き、無事盛況に終えることができました。つらい出来事のあった一年でしたが、中部部・高校生達の明るい笑顔に未来を信じ、OB関係者、保護者の方々の活き活きと活躍される姿に元気をもらう事ができました。「東海」で得られた「出会い」と「繋がり」をこれからも大切に育てていきましょう。

がんばろう日本！がんばろう東海！



同窓会のお店



保護者食堂

我ら 四高・四中

保護者も楽しく

飛躍の時 ～四高サッカー部～

サッカー部は、昨年7月秋田県にて開催のインターハイへ北海道代表として出場！念願の全国大会出場という目標を果たしました。選手たちを支えた保護者の方、監督、キャプテンよりこれまでの想いを寄せていただきました。

こしょうかい
虎翔会会長 綿引 司

親にとって自分の命より大切なものは、わが子です。どの親も、わが子が健やかに育ち、幸せになってくれることを願って、我が身を顧みず教育に精を出します。私たち虎翔会父母の願いも同じでした。役員会では、話し合いを重ね、たとえ些細なことでも皆で協力し、精一杯努力してきました。例えば、子どもたちの笑顔が見たくて頑張った海での焼き肉会、初の全国大会報告会など。また遠征での補食に関しては、虎翔会OBの保護者の方々から温かいご指導をいただきました。子どもたちの人間形成や心身の健全な育成のためには、保護者と指導者の相互理解を更に深め、練習しやすい指導環境の改善やコミュニケーションの充実した虎翔会活動が肝要であり、今後とも献身の努力をお願い致します。最後に、これまで東海大四サッカー部のためにご尽力賜りました校長先生をはじめ、指導者各位、母校を愛するOBの皆様、ご支援を賜りました後援会ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。そして虎翔会役員の皆様、一年間本当にありがとうございました。



ふれあいキッズ

平成23年9月15日(木) 中部部2年生が道徳の授業とし南区子育て支援係保育士さんのもと乳幼児を持つ33組々にご協力いただき『ふれあいキッズ』を体験しました。これは、乳幼児とふれあうことで「子どものかわいさの尊さ」「男女がともに育児に関わることの大切さ」を伝えることを目的に、札幌市が次世代育成支援事業の一環として実施しているものです。

始めは、赤ちゃんに触れることもこわごわとしていた生徒たちでしたが、赤ちゃんを抱っこした時の笑顔はと優しいものでした。次第に赤ちゃんのペースに巻きこま同じ目線で一緒に遊んでいました。その姿も微笑ましかったです。

今年は、東日本大震災によってたくさんの命が失われました。生徒たちは、小さなぬくもりに触れ、改めて命の大切さを感じたことでしょうか。

そして、わが子を見つめるお母さんの姿を見て、自分も生きてきたことだけで、周りの人々を幸せにできる存在なのではないでしょうか。

今回の経験で、生徒たちは自分のカラダも他人のことも大切にすることを学んだことでしょうか。

サポーターズ!

参加しています

サッカー部監督 石塚 公二

初出場の全国大会から帰礼したある夏休みの日曜日。今年で二度目となった、虎翔会(保護者会)主催の「石狩浜あそびーち焼肉会」を開催して頂きました。参加者は選手・スタッフ・保護者総勢80名を越え、卒業生の保護者からお肉の差し入れもあり、全員で笑顔溢れる最高の時間を過ごしました。チームに関わる皆様との「一体感」こそが、このチームの原動力だと再認識した一日でした。

サッカー部主将 3年2組 浅野 遼

サッカーに励んだこの三年間は、保護者の皆様とともに一体感を持って戦うことができました。新たな歴史を創ることができたのも、多大なる支援や深い理解があったからこそです。結果と真の人間性を追求した経験は、私の人生の財産です。チームに関わっていただいた皆様には、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



ライブ in 東海

双子ちゃんも来てくれました♡



本校第一会議室にて



ほくもこんな時があったのかな～

望星塾



井上 和久さん、
悦子さんご夫妻

第二体育館横にある望星塾をご存知ですか? 120名もの塾生の生活を管理して下さる井上さんご夫妻をレポートしました。

親元から離れた塾生の親代わりとなり、部活動、学業、私生活とあらゆる面に気を配る毎日を送る井上さんご夫妻。塾生が病気の時は病院へ連れて行き、試験前には奥さんが夜食作り、大会にも応援に行きたくさんの写真を撮ってくれます。

塾の居間には塾生をはじめ先生、部活動のコーチ、保護者、OBと人の出入りが絶えません。お二人の人柄を物語っています。

ある保護者から

井上さんご夫妻を信頼しているから安心して子供を預けていました。悪いときは叱ってくれ、落ち込んでいる時は優しく慰めてくれます。卒業の時には3年間撮り貯めた写真のDVDを見せていただき、涙が止まりませんでした。本当に感謝しています。

井上さんから保護者のみなさんへ

長い目で子供の成長を見守ってほしい。1年目で出来なかった事も3年間でみんな出来るようになるんです。

井上さん、お休みはあるんですか?

年末年始12月30日～1月3日の5日間です。塾生が一人もいなくなるのはこの期間ぐらいですね。

本当に井上さんご夫妻には頭が下がります。体につけていつまでも望星塾をお願いします。

吹奏楽部

井田 重芳先生 **祝** 還暦

今年の吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールに三年連続出場したためコンクールには参加できない年でした。そのため部員を励まそうと8月12日の定期演奏会では吹奏楽部OBが多数かけつけてくださりまるで礼響の演奏かと思う程、素晴らしい音色が響きました。また9月19日は東京サントリーホールにて埼玉・春日部共栄高と記念演奏会も行い、大盛況でした。

今年は顧問の井田先生が還暦をむかえられたということで保護者会(中島会長)では赤のTシャツ(¥1,500)を製作し限定発売しました。井田先生、食べすぎ飲みすぎには十分気をつけて、次年度もよろしくをお願いします。

→ 発売中!!



← 井田先生
あみぐるみを手にとり
♡

卒業生インタビュー

各界で活躍している卒業生を紹介

東海大学政治経済学部経済学科 2012年3月卒業予定

ゴールドマン・サックス証券
(シンガポール支社勤務) 内定

たてばやし しんいち
館林 真一 さん

平成元年生まれ
42期生



プロフィール

旭川市出身。東海大四高校時代は、望星塾に入り、野球部でキャッチャーとサードで活躍。卒業後は、東海大学政治経済学部(湘南キャンパス)へ進学。

野球で培った体力と行動力で、大学1年次は、英語の習得に没頭。2年次に大学のプログラムでアメリカ留学を経験。その後は、身につけた英語力で、海外の様々な英語関係のプログラムに参加し、国際感覚を磨く。

3年次には、タイでの1ヶ月間のサマープログラムに参加。バングラデシュ・グラミン銀行にて3週間、アメリカ・ワシントンDCにあるNPOにて4か月間のインターシップ(就業体験)を経験。

4年次には、数ある学生会議の中で最も歴史の

ある(1934年～)日米学生会議に東海大学生歴代2人目として参加。また、日露学生フォーラム、グラミン銀行での国際会議にも参加。

大学卒業後は、外資系投資銀行のゴールドマン・サックスに内定。将来の夢は、自ら会社を立ち上げ、発展途上国の開発の分野で貢献したいと願う。

Q 東海第四ではどんな高校生活でしたか？

先生よりもとにかく毎日グラウンドで白球を追いかけて、夢の甲子園を目指して毎日練習に没頭しました。チームがうまく機能しなくて非常に悩み、大変な時期もありましたが、チーム全体で切磋琢磨し精一杯頑張ったことは、今でも私の糧となっています。また、アルファクラスに入っていたため、勉強と野球の両立がとても大変だったことをよく覚えています。

Q 後輩の四高生へのメッセージ

成功の反対は、「失敗」ではなく、「挑戦しなかったこと」だと私は思います。そして、何に挑戦するにしても、自分自身で限界線を引かず、思い切って一歩踏み出してみてください。新たな自分の可能性がきっと見つかるはずです！

西武ライオンズ 外野手

たしろ しょうたろう
田代 将太郎 さん

平成元年生まれ
42期生



14年ぶりに四高野球部からプロ野球選手が誕生しました。

2011年プロ野球ドラフト会議で西武ライオンズから5位指名を受け、今シーズンからプロ野球選手の仲間入りです。

プロフィール

平成元年石狩市生まれ。小学校の頃からプロ野球選手を目指し東海大四高校へ。卒業後八戸大学に進学、1年からベンチ入りし大活躍。西武ライオンズ入団。

Q 四高時代は？

入学した頃は監督、先輩はすごい怖い存在で練習も厳しく辞めたいこともありました。

しかし、自分の野球のために頑張ってくれる家族のため、何としてもプロ野球選手になって恩返しをしたいという思いが自分を奮い立たせてくれました。

後輩のみなさんへ

しっかり目標をもって頑張ってください。苦しい時を乗り越えたら必ず夢は叶います。

田代選手に夢が叶いましたね。と、問いかけると、「いいえ。やっとスタートラインです。僕の夢はこれからです。」と、目を輝かせていました。

田代選手、プロ野球界で大輪の花を咲かせてください。

編集後記

子供がお世話になっている学校に、何かの形で協力したい、そんな思いでつながっている広報誌ですが、第5号が出せるまでになりました。

レイアウトにも工夫したり、少しはレベルアップもできたでしょうか？

楽しいおしゃべりが目当てでももちろん良いです。次はあなたもどうぞお仲間!!

広報委員会 土井 浩子
編集スタッフ/広報委員一同
印刷/株式会社エーシーピー

ホームページ <http://www.tokai.ed.jp/daiyon/>